



役場ロビーで開かれた木彫りと流木アートの二人展

芸術家のコラボレーション」が開かれました。

出展したのは佐々木政明さん（虻1区）と尾形賢一さん（入4区）で、佐々木さんが木彫り作品55点、尾形さんが流木アート作品40点を展示しました。

それぞれ町の文化祭に出展していましたが、今回は、町職員からの誘いもあり、二人展を初めて開催しました。

二人とも「これからも続けていきたい」と意欲的に話してくれました。

木彫りと流木アート 役場ロビーで二人展

宝さがしウォークラリー タブレット端末で史跡めぐり

タブレット端末使って郷土の歴史を学ぶ「宝さがしウォークラリー 洞爺開拓団の遺産を探せ！」（洞爺湖町教育委員会主催）が、6月11日洞爺総合センターをスタートに行われ、約35人が参加しました。

昨年までの文化財ウォークラリーを、今年は楽しみながら地域の文化財を知ってもらおうと、iPad（アイパッド）を使ったクイズ形式の宝探しとして実施。2～3人のグループが、端末に映し出された地図や問題を解きながら、開拓に関する文化財を巡り、最後に隠されたお宝を発見し、歓声を上げていました。



お宝を探し当て喜びいっぱいの児童たち

6月7日から6月17日まで、洞爺湖町役場ロビーで、「木にまつわる二人展～職人と

洞爺湖町少年の主張大会 佐長さん最優秀賞受賞

平成28年度洞爺湖町少年の主張大会（洞爺湖町青年健全育成連絡協議会主催）が、6月14日あぶたふれ合いセンターで行われ、町内の各中学校の代表4人が、聴衆者に自らの主張を訴えました。

最優秀賞に輝いたのは、洞爺中学校2年佐長礼弥さん。「今日を大切に生きる」と題して祖母の死を通じて学んだ「毎日を悔いのないように生きること」の大切さを訴えました。

佐長さんは、7月20日開催の「少年の主張胆振地区



最優秀賞に輝いた佐長礼弥さん

大会」に洞爺湖町代表として出場します。その他の賞は次のとおり。

▷優秀賞 斎藤茜音さん（虻中3年）

▷優良賞 毛利ほのかさん（洞爺中3年）・関根ほのかさん（虻中3年）

ジュニアオーシャン優勝 学童軟式大会西胆振予選

高円宮賜杯第36回全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント西胆振予選で、10年ぶりに優勝を果たした虻田ジュニアオーシャン（口屋紀史監督）が、6月16日、洞爺湖町役場を訪れ、優勝と同北海道大会への出場の報告を行いました。

キャプテンの中村関汰（虻田小6年）くんが「地区大会で優勝しました。北海大会では、一試合でも多く試合できるように頑張ります」と決意を述べ、それに応じて真屋町長が「みんなの力を結集して、一つでも多く勝てるように頑張ってください」とナインを激励しました。



優勝の報告で役場を訪問したジュニアオーシャンの選手たち



まちのわだい